

公益社団法人調布青年会議所 2026年度
ハイ！おまち委員会 運営方針

副理事長 加藤 舜叔
委員長 齊藤 彰悠
副委員長 木学 尚希

■委員会テーマ

伝統を醸し、共創で拓くまちづくり

■委員長所信

日本では古くから日本酒が愛され、その原料となる酒米もまた、時代と共に受け継がれてきました。その中でも「雄町（おまち）」は、幕末の時代から続く伝統を持ちながらも、近年その価値が再評価され、全国的に注目を集める存在となっています。伝統を大切にしながらも、新たな広がりと可能性を生み出してきた「おまち」の姿は、今の調布の街、そして私たち青年会議所の在り方と重なるものがあると感じています。

調布市、そして調布青年会議所は共に半世紀を超える歴史を重ねてきました。本年度には駅前広場の開発の完成を迎える、調布という街はいま新たなスタートラインに立っています。この節目の時代において調布青年会議所が果たすべき役割は、行政や企業だけでなく市民、地域団体などまちに関わる多様な人々がひとつとなり、「まちぐるみ」で未来の調布を築いていく為のきっかけを生み出す事だと考えます。

映画、スポーツ、漫画や古くから受け継がれて来た神社仏閣など、調布は既に多くの文化や歴史、魅力を有する街です。しかし、その魅力を守るだけでなく次の世代へと繋げる為には新たな価値や魅力を生み出していく必要があります。本委員会では、伝統を尊重しながらも一步先へ踏み出し、調布の可能性を更に広げる取り組みを行って参ります。

本年度の事業としては、1月の新春地域懇談会において調布青年会議所の本年度の在り方を示し、7月にはまちの課題を深掘りした事業を展開し、11月には更に調布市商工会青年部の視点を加えてまちに向き合った事業を行います。

私、齊藤彰悠が委員長を務めさせていただく「ハイ！おまち委員会」では、「ハイ！おまち」という言葉に込めた、まちの声、期待に応えるという想いのもと、酒米「おまち」のように伝統を重んじながらも新たなまちの魅了を拡大していく委員会を目指します。

■担当事業など（予定）

- 新春地域懇談会の開催 【1月例会/共益事業】
- 地域交流例会の開催 【7月例会/公益事業】
- 青年経済人会議による例会開催 【11月例会/共益事業】
- その他事項
 - ・調布市商工会青年部との青年経済人会議の実施
 - ・他団体との交流 【通年】
 - ・まちの魅力に関する調査研究 【通年】

■最後に

街で一つになるためにも、まずは調布青年会議所で、そしてこのハイ！おまち委員会で団結し、楽しくも意義のある一年にしましょう！